

【 議 事 録 】

会議名	第2回 子ども応援会議	
日時	令和4年1月14日（金）午後5時30分～午後7時10分	
会場	甲府市役所本庁舎4階 大会議室	
議事	1. 子ども未来フォーラムの詳細について 2. 子どもの権利について 3. 学生との連携について	資料 有■ 無□
出席者	<p><子どもの権利擁護委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府市子どもの権利擁護委員代表 八巻様 <p><子ども応援委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府ライオンズクラブ 梅田様 ・特定非営利活動法人にじいろのわ 土屋様、内藤様 ・山梨県立大学 八代様、大蔵様 ・特定非営利活動法人 bond place 芦澤様、田邊様 ・ELK 柳澤様、守屋様 ・高校生ボランティア団体 LINK 平川様、高井様 <p><議事進行>窪田副市長</p> <p><オブザーバー>寺田課長（学校教育課）</p> <p><事務局（子ども未来部）>奈良田部長、巽室長、一ノ瀬課長、花輪係長、中澤主任</p> <p><子ども未来フォーラム運営受託者>株式会社ユーティーワイ企画 名取様</p>	
要旨	1. 子ども未来フォーラムの詳細について 2月19日（土）に開催予定の「子ども未来フォーラム」に向けて、具体的な内容やスケジュールに関して意見交換、情報共有を行った。	
	① 子どもの権利セミナー 講演会を通じて子どもたち本人に対して子どもの権利を知ってもらう機会をつくることで、自分たちが困っていることを明確にし、解決していくための知恵を与えていくことを考えている。中学生との座談会では、権利とは何か、義務とは何か、子どもの権利を知ることによってどんなことができるのかなどを中学生自身に知ってもらう機会にした。	
	② 子ども参加型イベント 【子どもマナーテニス教室】 子どもたちがテニスを通じて、身体を動かすこと、マナー・文武を身につけてもらうことを目指して教室を開催する。子ども用のネットやラケットを使用しながら、子ども同士・大人と一緒にプレイしてもらうことを考えている。初心者でも楽しめるような体験内容を工夫していく。	

【防災子ども食堂】

災害が少ない山梨県において、防災に関する知識や経験が少ない現状もある。いつ起きてもおかしくない大災害が起きた時に、まず自分の命が守れるように、子どもたちに伝えていきたいと考えている。

【プログラミング教室】

小学校や中学校、高校でもプログラミングが必須化されてきている。プログラミング的思考を子どもたちが身につけること、子どもと大人と一緒にトライアンドエラーを繰り返しながら考えていくことを目指している。

【レゴ®を使ったワークショップ】

子どもたち自身が自分のやりたいことを発信する機会づくりを目指している。ただ、言葉で発信するのが難しい部分もあるので、レゴ®ブロックなどのツールを活用しながら、子どもたちの考えていることの発信のサポートができればと考えている。

【アウトドア体験】

スラックラインやハンモックを子どもたちが体験できる企画を考えている。バランス感覚を養ったり、安心感を感じることでできる時間を子どもたちに提供できたらいいと考えている。また、テントの設営の体験なども考えており、大人がやってしまうのではなく、なるべく子どもたち自身の力で達成する経験をしてもらいたいと考えている。身体のバランスが整っていくことが心のバランスを整えることにもつながっていくので、今回の企画の中で子どもたちに体験してもらいたい。

2. 子どもの権利について

条約や法律、条令などで示されている「子ども」や「子どもの権利」について、家族や学校での問題点や自治体や国の取組みなどについてレジュメを用いて学び、2022年4月から、民法改正に伴い成人年齢が18歳に引下げられることも含め、子どもの権利がこれからどのように広がっていくのかについて情報共有を行った。

3. 学生との連携について

各団体と高校生や大学生などの「学生」との連携を推進していくため、各団体で実施している学生との連携等について、意見交換を行った。

【各団体から出された意見】

- ・コロナをきっかけに「自分たちにも何かできることはないか？」を考え、様々なアクションを始めた学生がたくさんいた。
- ・年齢の近い存在である学生だからこそ子どもたちが心を開くことも多い。子どもたちが悩んでいること、困っていることなどをキャッチする存在になってくれる。
- ・子どもたちにとって学生は、身近なロールモデルになり、夢や希望を持つきっかけになるなどプラスな影響もある。
- ・学生だからこそできることもある。学生が安心・安全に活動に参加できる環境づくりを目指して、高校生ボランティアフォーラムの開催を予定している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・実習以外で子どもたちと現場で関わる機会がなかなかなく、そうした機会を求めている学生もたくさんいた。現場で実際に子どもたちと関わる中で学生自身にも学びが得られたり、新たなつながりが得られたりすることも大事である。 ・活動を通じて自分と同じ意志を持った人たちと出会えることや、自分とは違ったことを考えている人たちとつながり、活動の輪が広がっていくことが楽しみである。 ・子どもたちと年齢が近いからこそできる関わり方を知ることで、経験や知識が浅い自分たちの自信につながる。 ・学生が現場で取り組んだことに対して、関わった子どもたちから意見をもらえることや先生たちから評価をもらうことで学生たち自身の学びにつながる。こうした Win-Win な関係が活動を継続していく上でとても大事だと考えている。
会議の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども未来フォーラムの詳細について、情報共有を行った。 ・子どもの権利について理解を深めた。 ・学生との連携について意見交換を行った。
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども未来フォーラムについて、検証を踏まえ、来年度の事業につながるよう意見交換を行う。 ・子どもの権利について、甲府市子ども未来応援条例も含め周知を図っていく。 ・学生との連携について、マッチングを含めた可能性について意見交換を行う。